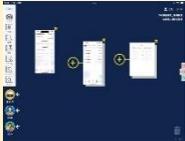


事例名			
「農業経営」におけるアプリケーションの活用			
校種・学年	高等学校・2年		
教科・科目・単元・題材	農業科・農業経営		
学校名〈任意〉	—	事例報告者氏名〈任意〉	—
機能名（アプリ名）	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル仕訳帳・総勘定元帳の作成（農業青色申告帳） ・ファイルの配布（ロイロノート） 		
ICT 活用のポイント			
<p>農業経営の授業において農業簿記について学習する。様々な帳簿について、練習問題を手書きで作成し、仕組みや手順を演習している。農業簿記の中の一つとして仕訳帳・総勘定元帳を手書きで学習していたところ、アプリケーションを見つけ、活用することで短時間かつ効率的に帳簿作成ができることがわかった。生徒用タブレットではアプリケーションが起動しなかったため、教員のタブレットで実践し、動画にてこのような機能があることを紹介し、将来農業経営をすることがあれば、活用できるよう学習した。</p>			
活用場面			
<p>①主要簿において「仕訳帳・総勘定元帳」の練習問題を紙媒体で解答する。</p> 			
<p>②教員が「農業青色申告帳」で入力している様子を画面録画し、その動画をロイロノートで配布し生徒が視聴する。</p>  			
<p>③完成したデジタルの帳簿をロイロノートで配布する。</p> 			
<p>④デジタルの帳簿と生徒が作成した紙媒体の帳簿を見比べ、違いを確認する。</p> 			
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<p>農業簿記は一般的な企業簿記とは異なり様々な特徴を持っている。農業簿記の特徴に対応したアプリケーションは少なく、手軽に体験できる便利なアプリケーションだった。生徒たちは、帳簿の完成にかかる時間の速さに驚いていたが、練習問題程の取引の量なら手書きで作成したほうが正確ではないかと意見していた。デジタルでの便利さを知ることはできたが、通信環境の問題や手書きで書くことの良さや大事さを改めて考えることができていた。</p>			